

ソーシャルインクルージョン（社会的包摂）のゆくえ ～当事者の声を手がかりに～

講師：ケアリーバー西山彰彦 氏、宮崎県男女共同参画推進員・性同一性障害 (MTF) 当事者 黒木瑞季 氏
医療的ケア児 岩穴口栄市 氏・節子 氏・壱太 氏、不登校児保護者 溝上さゆり 氏

若宮 邦彦

令和2年1月17日厚生労働省は「地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の整備について」においてソーシャルインクルージョン（社会的包摂）の在り方を提唱した。子ども、しょうがい者、高齢者、性的マイノリティ等のダイバーシティ（多様性）をふまえ、すべての人々が排除されることなく地域で自分らしく生活するソーシャルインクルージョン（社会的包摂）の具現化は重要な課題である。

本講座では、大学の公益性を鑑み、地域貢献の一環としてパネルディスカッションを開催した。インクルーシブな観点から「障がい」のみではなく、様々な生きづらさを抱えた当事者のリアルな声を元にソーシャルインクルージョン（社会的包摂）の在り方を模索した。パネラーに当事者としてケアリーバー西山彰彦 氏、宮崎県男女共同参画推進員・性同一性障害 (MTF) 当事者 黒木瑞季 氏、医療的ケア児 岩穴口栄市 氏・節子 氏・壱太 氏、不登校児保護者 溝上さゆり 氏に登壇いただいた。

都城市男女共同参画センターとの共催により開講し、第一部ではパネラーの実践報告。第2部ではフリーディスカッションならびに質疑を実施した。日程的に他研修会等とのバッティングもあったが80名程度の市民、専門職、学生等が参加した。

参加者のアンケートより一部抜粋

「西山さんの『次は自分が支える番』というコメントが素晴らしい。」

「ケアリーバーをいう言葉を知りませんでした。貴重なお話をお聞きすることができ、大変幸せです。全ての人々にとって過ごしやすい生きやすい世界にしていけるよう 私自身も努力したいと思います。」

「岩穴口さん親子のエピソードをお聞きして障

がいに對する概念が変わりました。」

「今こうやって声を上げてくださるパネラーの方々がいらっしゃるおかげで、未来は確実に皆に優しい社会へと向かっていると思います。」

「不登校が社会問題になっているが、当事者ではなく親に着目した点が良かった。子どもだけでなく親も支援する仕組みが大切だと思う。」

「ソーシャルインクルージョンが障がいのみではない様々な生きづらさを含む事を学び目からうろこでした。」

令和6年度南九州大学特別公開講座 主催：南九州大学・都城市男女共同参画センター

ソーシャルインクルージョン (社会的包摂)のゆくえ

～当事者の声を手がかりに～

参加費
無料

令和2年1月17日厚生労働省は「地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の整備について」においてソーシャルインクルージョン(社会的包摂)の在り方を提唱した。子ども、しょうがい者、高齢者、性的マイノリティ等のダイバーシティ(多様性)をふまえ、様々な生きづらさを抱えた当事者のリアルな声を元にソーシャルインクルージョン(社会的包摂)の在り方を模索する。

シンポジスト紹介

【ファシリテーター】南九州大学 人間発達学部 教授 ソーシャルワーカー 若宮 邦彦



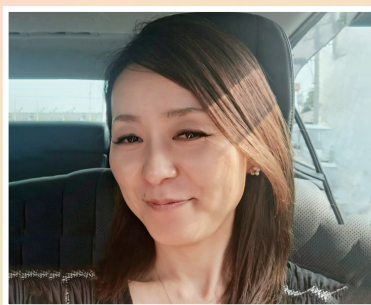
児童家庭支援センター
「陽(ひなた)」職員 ケアリーダー
西山彰彦さん



宮崎県男女共同参画地域
推進委員・性同一性障害(MTF)
黒木瑞季さん



都城市医療的ケア児者保護者の会
「スマイルたんぽぽ」
岩穴口栄市さん・智香子さん・亮太さん



不登校経験者(School truant)
保護者
溝上さゆりさん

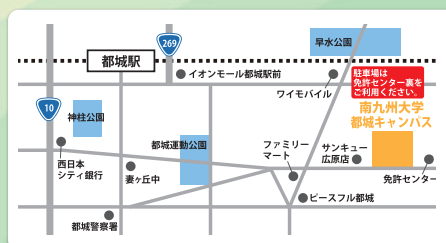
2024年 **11月16日(土)**

時 間: 14:00 ~ 16:00

会 場: 南九州大学都城キャンパス
(都城市立野町3764-1)(3号館3201教室)

定 員: 300名 ※事前の申し込みが必要。定員に達し次第締切

申し込み: 申込専用フォーム ▶▶▶▶▶



問い合わせ先

都城市男女共同参画センター ☎(0986) 23-2121 〆(0986) 21-3634